表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和5年度

		運行系統名		運行系統		系統	計画	計画	利便増進			ーダー系統の基準適合 表7及び別表9)	
市区町村	運行予定者名	(申請番号)	起点	経由地 営業区域	終点	キロ程	運行 日数	運行 回数	连特例措置	運行態様 の別	基準口で 該当する 要件		基準二で該当 する要件 (別表7のみ)
石狩市		(1) 浜益南北方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	194 日	194.0 回		区域運行		 北海道中央バス(株)札	
	石狩市	(2) 浜益東方面	浜益	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	50 日	38.0 回		区域運行		幌厚田線道の駅石狩「あいるーと厚田」及び厚田 支所停留所、沿岸バス (株)はぼろ号浜益区各停	
		(3) 厚田方面	雄冬	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	244 日	524.0 回		区域運行		留所に接続	
						往 km 復 km	日						
						往 km 復 km	日	回					

(注)

- 1.区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
- 2.「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
- 3.「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「」を記載する。
- 4.「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
- 5、「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
- 6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名
石狩市

(単位:人)

	(十四・八)
	人口
人口集中地区以外	12,136
交通不便地域	2,751

交通不便地域の内訳

~ .	2 X-2-3/07 JH/		
	人口	対象地区	根拠法
	1,631	旧厚田村	過疎地域の持続的発展の支援に 関する特別措置法
	1,120	旧浜益村	過疎地域の持続的発展の支援に 関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画の策定年月日及び算定式適用開始年度

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
石狩市地域公共交通網形成計画	平成31年3月22日	

(1)記載要領

1.人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。

なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。

- 2 .「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
- 3. 「交通不便地域」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(以下、「交付要綱」という。)の別表7(ロ (1))に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7(ロ (2)(実施要領の2.(1)))に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
- 4.「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
- 5.「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2)添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図 (ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)

連行	「四数・「	ーピス提供時	間鼻疋表												** '=/	L 4 78/2 ± 4 17 1 1 1	
				計画運行日	数 B	194.0	実績運行日	数	F	運休回数 (ll) - (ろ)=(は)		194.0	*1 連行回数I (往、復、循	は、1運行を1回とし [.] 語巻1回)	てカワントする。
運行	`C 24 +	11		計画運行回		404.0	実績運行回		J			回数(に)Ⅰ				運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	洪益臣	北方面			(11) E	194.0	サービス提信	共時間(リ)	0	運行割合(ろ+に))/(い)=(ほ)					
		11.34 /FTT		計	画							実 績					備考
年月	曜日 区分	片道・循環 回数	運行日数	宝仁 同数	調整後の	運行回数	運行日数		運行回数*1				t,	ナービス提供時間			
十月	区分)建1]口奴	運行回数	調整%			増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	$A \times B = C$	D	C × D = E	F	G	H 天災*2	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
4年		往 1															
44	月火 木金	復 1	16	32.0	50.0%	16.0					時間						
10.	目	循															
		往									時間						
		復									分		T				
		循							T		計						
		往										「時間単位」で	ιλカする場合	HT 上段。 「	時間 + 分単		
		復									쉾	で入力する場	合は「下段」	に入力してくた	さい。 (下段		
		循									は	」で入力する場 「分」のみでも	入力できます)			
		往									È	当月の合計値を	入力してくだ	さい。(曜日毎	に分ける必要		
		復										ありません)	ナノゼナ い (兴公计中新》十	***		
		循									X	数値のみ入力し	C C Rain (単位は自動人人	Jensy)		
月	計		16	32.0		16.0											
		片道・循環		計	画							実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1	_				ナービス提供時間		7	(10 th 14 (T 15 () 14 dt
	区分				調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	$A \times B = C$	D	C × D = E	F	G	H 天災*2	J		K	L	М	N	0	対象がこなりに珪田寺)
4年	月火	往 1															
	木金	復 1	16	32.0	50.0%	16.0			_		時間						
11.	╡																
		往									時間		 				
		復							+		分計						
		循									計					,	
		往															
		<u>復</u>							+								
											-						
		往															
		復 1							+								
/]	計	1月	16	32.0		16.0											
Ú	, пі		10	32.0		10.0											
				計	I⊞I							実 績					備考
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行回数*1			Z NGE	+	ナービス提供時間			IIII
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1	~13.17.	増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2			K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
44		往 1															
4年	月火 木金	復 1	16	32.0	50.0%	16.0					時間		1	1			【年末年始運休日】12/29、12/30
12,	月	循							T	- 1							
		往									時間					1	
		復									分		†	1			
		復 循							T i		_分 計						
		往															
		復															
		循						1					_				
		往															
		復											-				
		循															
月	計		16	32.0		16.0											

理化	丁四季	致・ユ	ーピス提供時	间异疋衣															
					計画運行日	数 B	194.0	実績運行日数	数	F		運休回数 (し	1) - (3	ろ)=(は)		194.0	*1 連行回致I (往、復、循	ま、1運行を1回とし 環条1回)	てカワントする。
運行	T	- > / - 1- 1			計画運行回			実績運行回		J				回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統		は南益	比方面		midelio)	(l) E	194.0	サービス提信		0				/(い)=(ほ)					
					計				71-31-3(2)	•		2131311		実績					備考
		成2 口	片道・循環				運行回数	運行日数		運行					+	ービス提供時間			m -5
年月	∄	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	Zenax	ÆIJ II XX	増便		k(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
			Α	В	A × B = C	D D	C × D = E	F	G	H	天災*2 I	J		K	[12] SERVIED	M	N J. W.O.M.O.L.D.	0	対象外となった理由等)
			往 1	В	AXB-C	D	OXD-L		G	- 11	人及21	J		K		m	IN	U	
5年		月火		15	30.0	50.0%	15.0						時間						【年末年始運休日】1/3
l .	月	木金	復 1_	13	30.0	30.0%	13.0			+	-		바퀴비						【千木午知连小口】1/3
													n±88						
			往										時間						
			復							+	-		分計						
			循										計						
			往																
			復							L	_								
			循																
			往											_					
			復						!	L	_								
			循																
,	١)١	計		15	30.0		15.0												
	_				±1	_								andrea d'Altr					
		•99 🗂	片道・循環		ĒΤ	画細数後の	(軍任同数	YEAT D #4		定化				実 績	4	ービス提供時間			備考
年月	∄ .	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数	10 /m			0.0.11		中军行吐用			7 White	1	(調整、増便、運休、補助
		区刀	Δ.			調整%	0 5 5	_	増便	理1/1	T (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	対象外となった理由等)
			A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	М	N	0)3201 C 31 1C E A 3)
5年		月火	往 1										04.00						
		木金	復 1_	15	30.0	50.0%	15.0			+	_		時間						
4	2月												04.00					<u> </u>	
			往										時間						
			復							+	_		分計						
	<u> </u>		循										計						
			往													_			
			復							+	_								
	\vdash																		
			往											_					
			. <u>復</u>							+	_								
	ds	±1	伯	45	00.0		45.0												
,	۱\	計		15	30.0		15.0												
					計	画								実 績					備考
	,	曜日	片道・循環	NEW /			運行回数	運行日数		運行	可回数*1				t	ービス提供時間			- m
年月	∄	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
			А	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н.	天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
_			往 1	_		_					7070 = 1	_			_			-	
5年		月火		17	34.0	50.0%	17.0						時間						
	3月	木金	復 1_							+			5. 5						
· ·	"'⊢		往										時間					t	
													分分						
			復							+			分 計						
			往																
			復							T :	-				_				
			往							1									
			復																
			循							T :	:								
,	Jv	計		17	34.0		17.0												

100 I J I	1XX >	一し人徒状时	可开定化												*1 運行同数1	は、1運行を1回とし ⁻	アカウントする
				計画運行日数	数 B	194.0	実績運行日数		F	運休回数 (ル				194.0	(往、復、循	環各1回)	
運行	浜益南ス	北方面		計画運行回数	女	194.0	実績運行回数		J	やむを得ない					*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	//.шнэ/	1073 ГД			(11) E		サービス提信	共時間(リ)	0	運行割合(2	_	/(い)=(ほ)					
		片道・循環		計		VE/- C #4	VE / W/-		VE/- C #L + -			実 績		. * — += // e+==			備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1					ービス提供時間	= // - 1.00	1	/ 细热 一类体 计
	上 刀				調整%	0.5.5	_	増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	Maorie de Prezinte y
5年	月火	往 1	16	32.0	50.0%	16.0					時間						
4月	月火 木金	復	10	32.0	50.0%	16.0		+-			时间						
4月		往									中						
											時間 分						
		復						+-									
		往									пІ						
		復															
		[2]						+-									
		往															
		復									_						
小	計	DIA .	16	32.0		16.0											
				02.10				<u> </u>									
				計	囲							実 績					備考
年月	曜日	片道・循環 回数	定仁口粉	定仁同粉	調整後の	運行回数	運行日数		運行回数*1				Ħ	ービス提供時間			
平月	区分	四奴	運行日数	運行回数	調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		Α	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 1															
5 4	月火 木金	復 1	16	32.0	50.0%	16.0					時間						
5月	711312	循															
		往									時間						
		復									分						
											計						
		往															
		復															
		往															
		[復															
-1-		循									$\overline{}$						
小	計		16	32.0		16.0											
				計								実 績					/# ±v
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行回数*1			大 浪	++	ービス提供時間			備考
年月	唯口 区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	/ŒIJEIXX	压11口双	増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		Α	В	A × B = C	D D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	[47.884.0]	M Elizabiles	N Tentonia	0	対象外となった理由等)
		往 1		NAB 0		OND E		ŭ	11	Ü		IV.	_			Ü	
5年	月火		18	36.0	50.0%	18.0					時間						
6月	木金	復			001011												
0, 1		往									時間						
		復									分						
		[2]						+-			計						
		往															
		復						<u>+</u> -					_				
		往															
		循									_						
小	計		18	36.0		18.0											

理门	叫数・ ユ	ーヒス提供時	间异正农												** ***	+ 4°=/-+1-11-	-4-4-5-1-4-7
				計画運行日	数 B	194.0	実績運行日	\$\forall 1	F	運休回数 (ル	1) - (?	ろ)=(は)		194.0	*1 連行回致I (往、復、循	は、1運行を1回として ≔タ1回)	こカワントする。
運行				計画運行回			実績運行回		J			回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	浜益南	北方面		nicize() Co	(l) E	194.0	サービス提供		0			/(い)=(ほ)					
				計	囲						,	実績					備考
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行回数*1			×	+	ービス提供時間			im 3
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%			増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
- /T	D. d.	往 1															
5年	月火木金	復 1	16	32.0	50.0%	16.0					時間						
7月	1 // 1	復							T								
		往									時間 分						
		復							L <u> </u>								
		循									計						
		往															
		復							L								
		循														/	
		往															
		復															
小	計	頒	16	32.0		16.0											
, Jr	āl		10	32.0		10.0											
				計	囲							実 績					備考
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行回数*1			X MR	t	ービス提供時間			m 5
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		Α	В	$A \times B = C$	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 1															
54	月火	復 1 1	17	34.0	50.0%	17.0					時間						
8月	1 11111															_	
		往									時間 分 計						
		復									_分_	4					
		循									計						
		往												_			
		復 循							+								
		往														/ 	
		復															
		1 6 +															
小	計		17	34.0		17.0											
-				•													
		片道・循環		計								実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1	1				ービス提供時間			CAMPAN LAKET NEW LAKET
	区分				調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象のではりに注曲や)
5年	月火	往 1	16	32.0	50.0%	16.0					時間						
9月	木金	復 1_ 循	10	32.0	30.0%	10.0			+		바퀴티						
37.	` <u> </u>	往									時間					1	
		復									分						
		往															
		復															
		循															
		往										-					
		復							L								
	+1	循		00.7		10.5						_					
小合			16 194	32.0 388.0		16.0 194.0											
	äΤ		194	388.0		194.0											

JE 1] L	13X. A	ーヒス提供時	 則异化农												*4 浑仁同粉!	+ 1 浑红 + 4 同 - 1 -	アカウン・レナフ
				計画運行日数	汝 B	50.0	実績運行日数	t i	F	運休回数 (ル	1) - (?	ろ)=(は)		38.0	(往 復 循	は、1運行を1回として 環各1回)	こがリントする。
運行	ンジャー	-		計画運行回数	汝		実績運行回数	な(ろ) 、	J	やむを得なし	1運休	回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	環各1回) 運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	浜益東	力囬			(11) E	38.0	サービス提供	は時間(り) (0	運行割合(2	3+に)	/(い)=(ほ)					
				計	囲				<u> </u>			実 績					備考
	曜日	片道・循環			調整後の	運行回数	運行日数		運行回数*1				ť	ービス提供時間			110 3
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%]		増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		Α	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
		往 1	_					-	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				_			-	
4年	水	復 1	4	8.0	35.0%	3.0					時間						
10月		循	•					+-			51=5						
10/3		往									時期						
											時間 分		+				
		復						+-			-/1_						
		往															
		復										「時間単位」でん	入力する場合は	「上段」、「時	間+分単位」		
		15						+-			で入	力する場合は	「下段」に入力	してください。	(下段は		
		p pag									,为	かり、のみでも人が	刀でざまり) A カレアノださ	い。(曜日毎に	- 4.1+2 必要け		
		往)ません)	//// C \ //2 e	V1。(唯口毋10	- 川川る必安は		
		復						+ _			数数	が値のみ入力し	てください(単	位は自動入力さ	れます)		
	+1	値									27		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,		
小	計		4	8.0		3.0											
				計	-m							.					/# #/
		片道・循環	1	āT		運行回数	運行日数		運行回数*1	1		実 績	-	ービス提供時間			備考
年月	曜日区分	回数	運行日数	運行回数		建打凹数	建仃口奴	I#/=		0 - 0 - 11		ch/27/= n+ nn			7 //- 1-100	1	(調整、増便、運休、補助
	△ 刀		_		調整%		_	増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	対象外となった理由等)
		A	В	$A \times B = C$	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	Macri Cas / Canada
4年		往 1									****						
_	水	復	4	8.0	35.0%	3.0					時間						
11月		循															
		往									時間		L				
		復									分						
		循									計						
		往															
		復															
		往										_					
		復															
		循															
小	計		4	8.0		3.0											
				計	<u> </u>							実 績					/4+
	n22 [片道・循環		āT		運行回数	運行日数		運行回数*1			天	-	ービス提供時間			備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数	調整後の調整%	连1]凹数	理打甘奴	増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間		 予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
	E 71	A				0 5 5	F		理体 (-) H 天災*2 I				付機時间	回送時間			対象外となった理由等)
			В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 大災"2 I	J		К	L	М	N	0	
4年	باد	往 1	4	8.0	35.0%	2.0					時間						
	水	[復	4	8.0	35.0%	3.0					時间						
12月		循									a+ 00						
		往									時間						
		復十一一一一									分						
		循									計						
		往															
		復															
		循															
		往										_					
		復															
	41	循															
小	計		4	8.0		3.0											

埋仃	四数・フ	ーヒス提供時	削异 疋农												\\$/= []#6		
				計画運行日数	数 B	50.0	実績運行日数		F	運休回数 (ル	1) - (3	ろ)=(は)		38.0	1 連行回数1 (往、復、循	は、1運行を1回とし [⊤] 環各1回)	(カワントする。
運行		÷=		計画運行回数	数		実績運行回数	数(ろ)	J	やむを得ない	1運休回	回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	浜益東	力則			(11) E	38.0	サービス提信	供時間(り)	0			/(い)=(ほ)					
		L'关 佐田		計	画							実 績					備考
年月	曜日 区分	片道・循環 回数	運行日数	運行回数	調整後の	運行回数	運行日数		運行回数*1				Ħ	ービス提供時間			
7/3	区分		连门口奴	连门口奴	調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 1								-							
	水	復 1	4	8.0	35.0%	3.0					時間						
1月		循															
		往								-	時間 分		L				
		<u>復</u>						+		-	分_計						
		往							-		ĒΤ						
		復								-							
		12						+		-							
		往															
		復															
		塩								1							
小	計		4	8.0		3.0											
		片道・循環		計	囲							実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1					ービス提供時間			
+73	区分				調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由寺)
5年		往 1								-							
	水	復 1	4	8.0	35.0%	3.0					時間						
2F		循									-+						
		往								-	時間						
		<u>復</u>						+			分計						
		往							-		ĒΤ						
		復								-						/	
		塩						+		-							
		往															
		復								=							
小	計		4	8.0		3.0											
		片道・循環		計								実 績					備 考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1	,				ービス提供時間		1	
	区分				調整%		_	増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象が こるりに建田寺 /
5年	-lv	往 1	-	40.0	25 0%	4.0				-	時間						
٥٦	水	復 1	5	10.0	35.0%	4.0					時间						
3F	-	往							-		D 土 日日						
		復								=	時間 分						
		12						+			_//_ 計						
		往									H1						
		復															
		1 個 +															
		往															
		復											_				
		循									_						
小	計		5	10.0		4.0											
									·						·		

運(丁)	믜釵・ワ	ーヒス提供時	间异 疋农												\\$/= []#6		
				計画運行日数	数 B	50.0	実績運行日数	女	F	運休回数 (し	1) - (3	ろ)=(は)		38.0	1 連行回数1 (往、復、循	は、1運行を1回とし [⊤] 環各1回)	(カワントする。
運行	~ ~ +	÷=		計画運行回数	数		実績運行回数	女(ろ)	J	やむを得ない	1運休	回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	浜益東	力則			(11) E	38.0	サービス提信	供時間(り)	0			/(い)=(ほ)					
		L'关 佐田		計	画							実 績					備考
年月	曜日区分	片道・循環 回数	運行日数	運行回数	調整後の	運行回数	運行日数		運行回数*1				Ħ	ービス提供時間			
7/3	区分		连门口奴	连门口奴	調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 1															
-	水	復 1	4	8.0	35.0%	3.0					時間						
4月		循															
		往									時間 分		L				
		<u>復</u>									_分_						
		往									āΤ						
		復															
		12						+									
		往															
		復															
		(_						
小	計		4	8.0		3.0											
		片道・循環		計	囲							実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1					ービス提供時間			
7/3	区分				調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由寺)
5年	l .	往 1															
	水	復 1	4	8.0	35.0%	3.0					時間						
5月		循									a+ 00						
		往									時間						
		<u>復</u>						+			分計						
		往									ĒΤ						
		復														/	
		塩						+									
		往															
		復															
								+									
小	計		4	8.0		3.0											
									_								
		片道・循環		計								実 績					備 考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1	,				ービス提供時間		1	
	区分				調整%		_	増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	Macric de Prezinta y
5年	-14	往 1		0.0	25 0%	3.0					時間						
۰	水	復 1	4	8.0	35.0%	3.0					時间						
6月	-	往									中華						
		復									時間 分						
		12						+			_//_ 計						
		往									н						
		復															
		1 個 +						+									
		往															
		復											_				
		循															
小	計		4	8.0		3.0											
										·					·		

連行	引数・ ア	ーピス提供時	間昇疋表														
				計画運行日数	数 B	50.0	実績運行日数	4	F	運休回数 (ル	.1) - (?	ろ)=(は)		38.0	. *1 運行回数 (往、復、循	ま、1運行を1回として :理タ1回ヽ	こカウントする。
運行	>- >/ 	\		計画運行回数			実績運行回数		J			<u>- / 、 </u>			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	浜益東	万面		mi mæri i m	(11) E	38.0	サービス提信		0			/(い)=(ほ)					
		11.34 (57.77)		計	囲				•	•		実 績					備考
年月	曜日	片道・循環 回数	運行日数	運行回数	調整後の	運行回数	運行日数		運行回数*1				Ħ	ービス提供時間			
年月	区分	E	建打口数	建打凹数	調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 1															
	水	復 1	4	8.0	35.0%	3.0		! _ ↓			時間						
7月		循															
		往									時間 分					-	
		[復						+		-	_分_						
		往									ĒΤ						
										-							
		復						+									
		往															
										-							
		復						+									
小	計	VIA.	4	8.0		3.0											
				計	画							実 績					備考
年月	曜日	片道・循環 回数	運行日数	運行回数	調整後の	運行回数	運行日数		運行回数*1				Ħ	ービス提供時間		_	
十月	区分	ПXX	建1]口奴	建1]凹奴	調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 1															
	水	復	5	10.0	35.0%	4.0		! _ ↓			時間						
8月		循															
		往								-	時間						
		<u>復</u>						+			分						
		往									計						
		復								-							
		造						+									
		往															
		復						+									
小	計		5	10.0		4.0											
									,								
		片道・循環		計								実 績					備考
年月	曜日 区分	万 週・ 循 坂 回 数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1					ービス提供時間			
1,,	区分		~=1311.00		調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象がとなりに珪田寺)
5年		往 1								_	-+						
	水	復 1	4	8.0	35.0%	3.0					時間						
9月											n+88					-	
		往								-	時間分						
		<u>復</u>						+		-	計						
		往									āΤ						
		復						+									
		往									1			-			
		復															
								+									
小	計		4	8.0		3.0											
合	計		50	100.0		38.0											

Æ1 J	二双	一し人徒状時	四开汇仪													*1 運行回数1	は、1運行を1回とし	てカウントする。
	_			計画運行日		244.0			F		運休回数 (ル				524.0	(往、復、循	環各1回)	
運行 系統	厚田方	面		計画運行回		524.0	実績運行回数		J		やむを得ない					*2 大災欄は、	運休のうちやむを得	けない 埋田のもの
尔凯				計	(II) E		サービス提供	代時間(リ)	0		理仃制百(:	ク+に)	/(い)=(ほ) 実 績					/# +v
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行[回数*1			天 棋	+	ービス提供時間	<u> </u>		備考
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%		连门口奴	増便	運休	(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н —	天災*2 I	J		K	L	M	N N	0	対象外となった理由等)
4年		往 4																
44	月火木金	復 2	16	96.0	35.0%	34.0						時間						
10,] ///	循																
		往 4										時間				L		
	水	復 2	4	24.0	35.0%	9.0						分計						
		循 往														<u> </u>		
		復										/-	「時間単位」で	入力する場合	よ「上段」、	「時間+分単	/	
												1立」 段は	で入力する場は「分」のみで	i台は「ト段」 'も入力できま'	こ人力してくだ す)	:311° ()		
		往										=	当月の合計値を	入力してくだ	さい。(曜日旬	₹に分ける必		
		復											はありません)		公(人) (一) (1) (1)	1 + + + + + \		
		循										劵	対値のみ入力し	((()	単位は自動人)	Jans)		
小	計		20	120.0		43.0												
	1			+1	_								- +					
	n22 —	片道・循環		計		運行回数	運行日数		運行[回数*1		1	実 績	+	ービス提供時間	1		備考
年月	曜日区分	回数	運行日数	運行回数	調整%		连门口奴	増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н —	天災*2 I	J		K	L	M	N N	0	対象外となった理由等)
4年		往 4															-	
	月火	復 2	16	96.0	35.0%	34.0						時間						
11,	= =	循																
		往 4										時間分				 		
	水	復 2	4	24.0	35.0%	9.0						分_ 計						
		1 往										ĒΤ						
		復																
		循 — — — -												_				
		往																
		復																
		循																
小	計		20	120.0		43.0												
				計	圃								実績					備考
	曜日	片道・循環	/=/= D #'			運行回数	運行日数		運行[回数*1				t	ービス提供時間			MI '5
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
4年	月火	往 4																
	木金	復 2	16	96.0	35.0%	34.0						時間						【年末年始運休日】12/29、12/30
12,	∃	循										n+88						
	水	往 4 復 2	4	24.0	35.0%	9.0						時間				 	-	
	小	個 2 -	4	24.0	30.0%	9.0						分計						
		往										н					/	1
		復																
		循																
		往						·					_					
		復																
- 11	±1	循	00	400.0		43.0							_					
小	計		20	120.0		43.0												

JE 1 J P	引致。こ	ーピス提供時	间异化农													*4 军任同数!	ま、1 運行を1回とし	てもウントナフ
				計画運行日数	数 B	244.0	実績運行日数	女	F		運休回数 (ル	,1) - (ろ)=(は)		524.0	(往、復、循		(カワントする。
運行	=	_		計画運行回数	\$\dag{\parallel{paralle}}}}}}}}}}}}}}}}}}		実績運行回数	女(ろ)	J				回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	身ない理由のもの
系統	厚田方面	田			(11) E	524.0	サービス提信	共時間(リ)	0		運行割合(3+に)	/(い)=(ほ)					
				計	画	ı		,					実績					備考
	曜日	片道・循環 回数	W W			運行回数	運行日数		運行回	回数*1				ħ	ービス提供時間			im 3
年月	区分	四奴	運行日数	運行回数	調整%			増便	運休	(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	н	天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 4																
5 年	月火 木金	復 2	15	90.0	35.0%	32.0						時間						【年末年始運休日】1/3
1月	八並	循								i								
		往 4										時間						
	水	復 2	4	24.0	35.0%	9.0						時間 分 計						
		循										計						
		往															/	
		復																
		循																
		往																
		復																
ds	±1.	循	19	114.0		41.0												
小	計		19	114.0		41.0												
				計	画								実績					備考
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行[回数*1			× 100	+	ービス提供時間			M -5
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%		~13.17.20	増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
		往 4																
5年	月火 木金	復 2	15	90.0	35.0%	32.0						時間						
2月	八並	循																
		往 4										時間 分						
	水	復 2	4	24.0	35.0%	9.0						分						
		循										計						
		往															/	
		復一一一一																
		循																
		往																
												_						
٧lv	計	1/14	19	114.0		41.0												
		上"学 /年1四		計	画								実 績					備考
年月	曜日	片道・循環 回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数			回数*1	,				ービス提供時間			
173	区分				調整%			増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象がとなりに理由等)
5年	月火	往 4		400.0	05.00	00.0						n+8P						
	木金	_ 復	17	102.0	35.0%	36.0						時間						
3月												n+88						
	水	往 4 復 2	5	30.0	35.0%	11.0						時間						
	小		5	30.0	33.0%	11.0						分計						
		往										п						
		復																
		往										1						
		復																
		循																
小	計		22	132.0		47.0												

	3X. 7	「一C人提供時	间界化仪													*4 军任同数!	+ 1 浑仁 + 4 同 1.1 -	ても ウン・し ナフ
				計画運行日数	数 B	244.0	実績運行日数	女	F		運休回数 (ル	,1) - (ろ)=(は)		524.0	(往、復、循	は、1運行を1回とし [−] i環各1回)	こ
運行	==	_		計画運行回数	\$\dag{\parallel{paralle}}}}}}}}}}}}}}}}}}		実績運行回数	女(ろ)	J				回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	厚田方面	囬			(11) E	524.0	サービス提信	共時間(リ)	0		運行割合(3+に)	/(い)=(ほ)					
				計	画			,		L			実績					備考
	曜日	片道・循環 回数	W W			運行回数	運行日数		運行回	回数*1				Ħ	ービス提供時間			rm 3
年月	区分	四奴	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運休	(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		Α	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	н	天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 4																
5 4	月火 木金	復 2	16	96.0	35.0%	34.0						時間						
4月	八亚	循																
		往 4										時間						
	水	復 2	4	24.0	35.0%	9.0						時間 分 計						
		循										計						
		往																
		復																
		循																
		往																
		_ 復																
ds	÷L	値	20	120.0		43.0												
小	計		20	120.0		43.0												
				計	画								実績					
# 0	曜日	片道・循環 回数	W			運行回数	運行日数		運行回	回数*1			20	ť	ービス提供時間			m J
年月	区分	四奴	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運休	(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		Α	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 4																
	月火 木金	復 2	16	96.0	35.0%	34.0						時間						
5月	711312	循																
		往 4										時間 分						
	水	_ 復2	4	24.0	35.0%	9.0						分_						
		循										計						
		往													_			
		_ 復																
		往																
		復																
		[]																
小	計	94	20	120.0		43.0												
		片道・循環		計									実 績					備考
年月	曜日区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数	IM/E		回数*1	1		ch)=(=n+50		ービス提供時間	7 //	1	(加數 地) 等件 200
	区方				調整%		_	増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間 M	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	M	N	0)
5年	月火	往 4 復 2	18	108.0	35.0%	38.0						時間						
6月	木金	_復2_	10	100.0	33.0%	30.0						바이테						
0/3		往 4										時間						
	水	復 2	4	24.0	35.0%	9.0						分						
												計						
		往																
		復																
		循												_				
		往																
		復												-				
		循																
小	計		22	132.0		47.0												

)是1 J P	引致, ふ	一し人提供時	间异化农													*4 浑么同类!	は、1運行を1回とし ⁻	てわウントオス
				計画運行日数	效 B	244.0	実績運行日数	汝	F		運休回数 (ル	,1) - (?	ろ)=(は)		524.0	(往、復、循		(ガワントする。
運行		-		計画運行回数	汝		実績運行回数	枚(ろ)	J				回数(に)Ⅰ				運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	厚田方面	Щ			(11) E	524.0	サービス提信	共時間(リ)	0		運行割合(3+に)	/(い)=(ほ)					
				計	画								実 績					備考
	曜日	片道・循環 回数	YE/- 1 #4	YEAT (2) #4	調整後の	運行回数	運行日数		運行回	回数*1				ħ	ービス提供時間			
年月	区分	四数	運行日数	運行回数	調整%			増便	運休((-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 4																
54	月火 木金	復 2	16	96.0	35.0%	34.0						時間						
7月	711312	循																
		往 4										時間						
	水		4	24.0	35.0%	9.0						分計						
		循										計						
		往																
		_復																
		循										ļ						
		往											_					
		復																
ds	±1	循	20	120.0		43.0												
小	計		20	120.0		43.0												
				計	圃								実績					備 考
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行回	回数*1				ť	ービス提供時間			m 5
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運休 (C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象外となった理由等)
5年		往 4																
54	月火 木金	復 2	17	102.0	35.0%	36.0						時間						
8月	711312	循																
		往 4										時間						
	水		5	30.0	35.0%	11.0						分						
		循										計						
		往																
		_復																
		往										ł						
		復																
												_						
小	計		22	132.0		47.0												
		片道・循環		計									実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数			回数*1					ービス提供時間		1	
	区分				調整%			増便	運休(C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	М	N	0	Naci Cooleand)
5年	月火	往 4	16	96.0	35.0%	34.0						時間						
9月	木金		16	96.0	35.0%	34.0						时间						
9月		(4)										時間						
	水	復 2	4	24.0	35.0%	9.0						公						
	/31		7	24.0	00.0%	0.0						時間分計						
		往																
		復																
		循												_				
		往										1						
		復												-				
		循																
小			20	120.0		43.0												
合	計		244	1,464.0		524.0												

100 I J I	1 XX 7	一口人提供时													*1 運行同数1	は、1運行を1回とし ⁻	アカウントする
				計画運行日数	数 B		実績運行日数		F	運休回数 (ル					(往、復、循	環各1回)	
運行				計画運行回数	数		実績運行回数		J	やむを得ない					*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統					(11) E		サービス提供	共時間(リ)	0	運行割合(2	3+に)	/(い)=(ほ)					
		片道・循環		計								実 績					備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数	1447	運行回数*1					ービス提供時間	7 (4 5 + 55		(細軟 横庙 海什 港中
	△刀				調整%	0 0 5	_	増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	Macric de l'extend /
4年		往									時間						
10月		<u>復</u>						+-			바라티						
10/3		往									時間						
											時間 分						
		復						+-			計						
		往											\ <u></u>	+ F FB F	n+ nn . // 24		
		復									4 \\ 1	「時間単位」で	入力する場合! 合は「下段」! 入力できます!	は「上段」、「 - λカーアノギ	時間 + 分里		
		1 循						+-			は、	「分」のみでも	入力できます)	CVIO (PFX		
		往									#	自月の合計値を	入力してくだる	さい。(曜日毎	に分ける必要		
		復									はあ	5りません)	_	V 4-11-4-5-1-1	No. 1 contracts N		
		循									委	又値のみ人刀し	てください()	単位は自動人力	されます)		
小	計																
		片道・循環		計								実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1					ービス提供時間			
173	区分				調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	$A \times B = C$	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象がとなりに珪田寺)
4年		往															
		復十一一一									時間						
11月		循									04.00						
		往									時間						
		復									分計						
		往									āl						
		復						+-									
		往															
		復									_						
小	計																
		上学 佐田		計								実 績					備考
年月	曜日 区分	片道・循環 回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1					ービス提供時間			
7/3	区分				調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
4年		往															
		復									時間						
12月																	
		往									時間						
		復									分						
											計						
		往												_			
		復						+-									
		往					-							_			
		復						+-									
/ /\	計	MM					II										

100 I J I	=1 XX -	・一し人徒状時													*1 運行同数1	は、1運行を1回として	⁻ カウントする
				計画運行日	数 B		実績運行日	数	F	運休回数 (ル	l) - (I	ろ)=(は)			(往、復、循	環各1回)	
運行				計画運行回	数		実績運行回		J			回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統					(11) E		サービス提供	共時間(リ)	0	運行割合(ろ+に)	/(い)=(ほ)					
		片道・循環		計	囲							実 績					備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1	1				ービス提供時間			CARTE INCT. VIII. LEGI
	区方	_	_		調整%		_	増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象(注 こは) に注面(字)
5年		往									時間						
1月		復							+		时间						
1/H		往									時間						
											時間 分		. – – – –				
		復 循							 		計						
		往															
		復 循							 								
		往															
		復															
		循															
小	計																
				計	ī							実 績					/++ +
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数					夫 規	+	トービス提供時間			備考
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%) Ellew	EII DXX	増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間		回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	M	N N	0	対象外となった理由等)
		往			_	****		-	7,7,7							-	
5年		復									時間						
2月		循															
		往									時間						
		復									分						
	-										計						
		往															
		復							 								
		往															
		復							 								
小	計																
					_												
	-77	片道・循環		計	画画	V字(二口料	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		`军亿 同类+4			実 績		L 127 +8 /4+r+99			備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数	100/E	運行回数*1	1		ch\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		ービス提供時間			(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	調整% D	C × D = E	F	増便 G	運休 (-) H 天災*2 I	C+G+H=		実運行時間	待機時間 I	回送時間 M	予約時間 N	K + L + M + N = 0	対象外となった理由等)
		往	D	AXD-U	U	CXD-E	Г	U	八火之十	J		N.	L	M	IN	U	-
5年		復								-	時間						
3月		1							 								
		往									時間						
		復									分						
		循									計						
		往															
		復 循							 						-		
		往															
		復 循							+								
小	計	Net															

700 I J I	=1 XX -)一 こ人提供时													*1 運行同数1	は、1運行を1回として	⁻ カウントする
				計画運行日	数 B		実績運行日	数	F	運休回数 (ル	l) - (i	ろ)=(は)			(往、復、循	環各1回)	
運行				計画運行回	数		実績運行回		J			回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統					(11) E		サービス提供	共時間(リ)	0	運行割合(ろ+に)	/(い)=(ほ)					
		片道・循環		計	囲			1				実 績					備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1	1				ービス提供時間			CARTE INCT. VIII. LEGI
	区方		_		調整%		_	増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		К	L	М	N	0	対象(注 こは) に注面(字)
5年		往									時間						
4月		復							+		时间						
4月		往									時間						
											時間分		. – – – –				
		復 循							 		計						
		往															
		復 循							 								
		往															
		復															
		循															
小	計																
				計	ī							実 績					/++ +
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数					夫 規	+	トービス提供時間			備考
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%) Ellew	EII DXX	増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間		回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	M	N N	0	対象外となった理由等)
		往			_	****			7,7,7							-	
5年		復									時間						
5月		循															
		往									時間						
		復									分						
	-										計						
		往															
		復							 								
		往															
		復							 								
小	計																
					_												
		片道・循環		計	画画製物の	·军仁同类	`TE (T. D. #L)军亿 (D #h+4			実 績		ト ビフ+8/#n+00			備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数	100/E	運行回数*1	1		ch\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		ービス提供時間			(調整、増便、運休、補助
	区刀	A	В	A × B = C	調整% D	C × D = E	F	増便 G	運休 (-) H 天災*2 I	C+G+H=		実運行時間	待機時間 I	回送時間 M	予約時間 N	K + L + M + N = 0	対象外となった理由等)
		往	D	AXD-U	U	CXD-E	Г	G	八火之十	J		N.	L	M	IN	U	-
5年		復								-	時間						
6月		<u> </u>							 								
		往									時間						
		復									分						
		循									計						
		往															
		復 循							 						-		
		往								-							
		復 循							+								
小	計	VE															
	-																

ME I J I	3X. 7	一し人提供時														*1 渾行同粉	は、1運行を1回として	カウントオス
				計画運行日	数 B		実績運行日数	汝	F		運休回数 (し	1) - (3	ろ)=(は)			(往、復、循	環各1回)	
運行 系統				計画運行回			実績運行回数		J		やむを得ない					*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統					(11) E		サービス提信	共時間(リ)	0		運行割合(名	3+に)	/(い)=(ほ)					
		片道・循環		計	囲								実 績					備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数			f回数*1	,				ービス提供時間		1	, 100 th 114 (T. 100 (1. 120)
	区分				調整%			増便		7 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外でなりに建田寺)
5年		往										時間						
		復 1 1 1 1 1							<u> </u>	-		時间						
7月		往								+		中華					 	
												山田						
		復							+			時間 分 計						
		往										п						
		復							 :					_				
		往																
		復							 	- :								
小	計																	
		片道・循環		計	画								実 績					備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数			可数*1	,				ービス提供時間			
173	区分				調整%			増便		7 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外でなりに理由寺)
5年		往																
		復								-		時間						
8月												o+ 00					ļ.	
		往										時間 分 計						
		復										分						
		往										āΪ						
		/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /													_			
		復							+ :									
		往															/	
		復																
小	計																	
		片道・循環		計	囲								実 績					備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数			f回数*1					ービス提供時間			
173	区分				調整%			増便		(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となりに理由寺)
5年		往										n± 00						
		復							+	-		時間						
9月												n±88					-	
		往										時間						
		復 1 1 1 1 1							+	-		分 計						
										+		п						
		往 復																
		復							+	-								
		往					-								-			
		復							t :	-								
小	計																	
	計																	

Æ1.	1111	7	こ人延伏时	1-0-5-1-1-1-1-1												*1 運行回数	は、1運行を1回とし ⁻	てカウントする。
					計画運行日数			実績運行日数			運休回数 (し					(往、復、循	環各1回)	
運行 系統					計画運行回数			実績運行回数					回数(に)			*2 大災欄は、	運休のうちやむを得	ない理田のもの
尔凯	5				計	(11) E		サービス提供	共時間(り) 0		連行制 百(名	(۱+5	/(い)=(ほ) 実 績					/# +-
	曜	_	片道・循環		ΠI		運行回数	運行日数		運行回数*1			天 模	+	ービス提供時間	1		備考
年月	唯区	分	回数	運行日数	運行回数	調整%	厘1]四数)上11口以	増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
			Α	В	A × B = C	ni9.±≘.// D	C × D = E	F		H 天災*2 I	J		K	I GIDS NOT DE	M Elizade	N 1. Waltalen	0	対象外となった理由等)
		往			NAD 0	D	OAD L	•	Ü	11	U		K	_			Ü	
4年		復										時間						
10	月	循	i															
		往										時間						
		復										分						
		循										計						
		往											「時間単位」で	入力する場合	‡「⊢Eθ」.	「時間 + 分単		
		復	: <u> </u>									位」	「時間単位」で で入力する場 は「分」のみで	合は「下段」	こ人力してくた	ざい。(下		
		循										段は	は「分」のみで	も入力できま	す)	= 1= 11 1 - 1		
		往										=	<mark>á月の合計値を</mark> はありません)	人刀してくた	さい。(曜日年	毎に分ける必		
		_ 復 循											女値のみ入力し		単位は自動入力	つされます)		
.1	. +1													- , (
/]	\ 計																	
					計	Ī							実績					
	曜	нΙ	片道・循環	VE /= E W/			運行回数	運行日数		運行回数*1			, max	t	ービス提供時間]		M⊞ '→
年月	X	分	回数	運行日数	運行回数	調整%			増便	運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
			Α	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
4年		往																
		復										時間						
11	月	循																
		往										時間 分				L		
		復										分_						
		循										計						
		往																
		_ 復 循	-															
		往																
		復																
		_ [2										_						
/]	\ 計																	
			片道・循環		計								実 績					備考
年月	曜	H I	」 回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1					ービス提供時間			
/3		分				調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
			A	В	$A \times B = C$	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象がとなりに採出寺)
4年		往										n±ee						
12	_	_ 復 循	: -									時間						
12	^н —	往										時間						
		復														 		
		_ 15										分計						
		往										н						
		復																
		- 12								 				-				
		往																
		復												_				
		循								. = = =								
月	\ 計																	

JE 1 J I	引致。こ	「一し人提供時	间异华农													*4 浑仁同粉!	+ 1 浑红 + 1 同 1 1 1	ても ウン・し ナフ
				計画運行日数	数 B		実績運行日数	女	F		運休回数 (ル	,1) - (ろ)=(は)			(往、復、循	は、1運行を1回とし [−] i環各1回)	こ カウントする。
運行				計画運行回数	数		実績運行回数	女(ろ)	J				回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統				ui mæi i m	(11) E		サービス提供		0				/(い)=(ほ)					
				計	画	1			-		~		実績					備考
	曜日	片道・循環)運行回数	運行日数		運行 [回数*1			X 1/95	++	ービス提供時間			MH '5
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%		Æ11 LX	増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D D	C × D = E	F	G	Н	天災*2	J		K	10 late of the	M M	N N	0	対象外となった理由等)
		往	В	AXD-C	D	CXD-L	'	G	- 11	人火之工	J		K	L	IVI	IN	U	
5年			-									時間						
		復										时间						
1月		循										****						
		往										時間						
		復										時間 分 計						
		循										計						
		往																
		復								<u> </u>								
		循																
		往																
		復																
		復								i								
小	計																	
		11.74 /578		計	囲								実 績					備考
年月	曜日	片道・循環 回数	運行日数	運行回数	調整後の)運行回数	運行日数		運行回	回数*1				ħ	ービス提供時間			
十月	区分	HXX.)建1]口奴	建1] 凹奴	調整%			増便	運休	(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
= t-		往																
5年		復										時間						
2月		循																
_,,		往										時間						
			-									時間分計						
		復	1									<u></u>						
		往										н						
		復	1												_			
										¦								
		往																
		復	-															
			1							¦ ·								
ds	計	1/日																
-3,	п																	
				計	IIII								実績					
	曜日	片道・循環)運行回数	運行日数		運行[回数*1			- Marc	++	ービス提供時間			- En
年月	曜日区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1	Æ13 H XX	増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	R	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H	天災*2 I	J		K K	I O INVINCIO	M	N N	0	対象外となった理由等)
		往	, ,	NAD 0	, ,	OAD L		Ü		7,7,2,1			IX.	_	m	14	v	
5年		復										時間						
3月			•									HALIED						
3H	-	往										n±88					-	
			4									時間						
		復										分計						
		循										計						
		往																
		復														-		
		往											_					
		復																
		循																
小	計																	

Æ1.	, mx	X	_	~\NE \\ =\	间异化农												*1 運行回数1	は、1運行を1回とし ⁻	てカウントする。
						計画運行日			実績運行日数			運休回数 (し					(往、復、循	環各1回)	
運行	Ī					計画運行回			実績運行回数					回数(に)			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	t					±.	(N) E		サービス提信	共時間(リ) 0		連行割合(2	3+に)	/(い)=(ほ)					
			片	道・循環		計		VEC D#	`TK- #h		YE/二回 # 1 * 4			実績		L 12 - +8 /4-0+88			備考
年月	3 1	曜日 区分		回数	運行日数	運行回数	調整%	運行回数	運行日数	増便	運行回数*1 運休(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	ービス提供時間 回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
				Α	В	A × B = C	前952% D	C × D = E	F		程	J		天理1J时间 K	1寸1枚4寸1町	四区时间 M	N J、WARALIEI	0	対象外となった理由等)
			往	Л	D	AXD-U	U	CXD-E	F	G	大火 2 1	J		N.	L	M	IN	U	
5年			復										時間						
Δ	月		循										H-3 (10)						
	′′-		往										時間						
			復										分			<u> </u>			
			循										時間 分 計						
			往												•				
			復																
			循												_				
			往											_					
			復 循																
			循																
1	\ <u> </u>	計																	
						計	丽							実績					
	п	曜日	片	道・循環				運行回数	運行日数		運行回数*1			大 順	+	ナービス提供時間			州 写
年月		区分		回数	運行日数	運行回数	調整%	1	~13.42	増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
				A	В	A × B = C	D	C × D = E	F		H 天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
c/T			往																
5年			復										時間						
5	月		循	1															
			往										時間分						
			復										分_						
			循										計						
			往																
		ŀ	復 循																
			往																
			復 循										_						
1	j\	計	VE																
			щ	道・循環		計	画							実 績					備考
年月		曜日	7	旦・個環 回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行回数*1					トービス提供時間			
17.	, [区分					調整%			増便	運休 (-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
				A	В	A × B = C	D	C × D = E	F	G	H 天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象外ではりに採出等)
5年			往										時間						
6	月		復 循	+									时间						
0	" [_]		往										時間						
			復										쉬			<u>-</u>			
			循										分計						
			往																
			復																
			循												_				
			往																
			復												-				
		+1	循																
1	۱۱	計																	

連行	믜釵・ ブ	ーヒス提供時	間算疋表															
				計画運行日	数 B		実績運行日数	½	F		運休回数 (L1) - (3	ろ)= (は)			*1 連行回数 (往、復、循	は、1運行を1回とし [−] 環条1回)	こカウントする。
運行				計画運行回			実績運行回数		J		やむを得ない運休回数(に)Ⅰ					*2 天災欄は、	環合「凹) 運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統				山岡连门口	(11) E		サービス提供		0				/(い)=(ほ)			1	,,	
				計	画	1) C)(jæl	実績					l .		備 考			
	曜日	片道・循環				D運行回数	運行日数		運行	回数*1	サービス提供時間					1		MH "5
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	7	~E13 E1 xx	増便	運休		C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A × B = C	D D	C × D = E	F	G	н	天災*2	J		K	Lauxealea	M	N N	0	対象外となった理由等)
		往		NAD 0	J	OAD L		Ŭ		XX 2 1	Ü		IX.	_		.,	v	
5年												時間						
7月		復循								i								
.,,		往										時間					1	
		復										分				†		
		循								i		時間 分 計						
		往																
		復																
		循								i								
		往																
		復																
		循																
小	計																	
		片道・循環		計	画								実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		D運行回数	運行日数			回数*1	,				ービス提供時間		,	
1,73	区分				調整%			増便	運休	<u> </u>	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A × B = C	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	М	N	0	対象がとなりに理由等)
5年		往																
		_復										時間						
8月		循										n+00					-	
		往										時間 分 計				 -		
		復										<u>`</u> ```						
		往										ĒΙ						
		復																
		12																
		往																
										 		_						
小	計	1914																
				計	囲								実 績					備考
年月	曜日	片道・循環 回数	運行日数	運行回数	調整後0	D運行回数	運行日数		運行	回数*1				Ħ	ービス提供時間]		
十万	区分	1120) (建1) 口奴	座11四数	調整%			増便	運休	(-)	C + G + H =		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K + L + M + N =	(調整、増便、運休、補助
		A	В	$A \times B = C$	D	C × D = E	F	G	Н	天災*2 I	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
5年		往																
		_復						L		<u> </u>		時間						
9月		循																
		往										時間分				L		
		復										分						
		循								-		計						
		/ →	1												=			
		往							1	1		I						
		復																
		復																
		復 循 往																
		復 循 往																
/ \	計	復																
小合		復 循 往																

2.補助対象期間における損益の実績【地域内フィーダー系統(区域型運行)】

	一般乗合旅客自動車運送事業·自家用有償旅客運送													
補助対象期間の	営業収益	千円	営業外収益	千円	経常収益	千円								
損益状況	営業費用	千円	営業外費用	千円	経常費用(イ)	千円								
	営業損益	千円	営業外損益	千円	経常損益	千円								
補助対象期間のサービ ス提供時間(ロ)	時間				経常収支率	%								

3.キロ当たり補助対象経常費用

補助ブロック名	補助対象事業者の時間当た り経常費用 イ÷ロ=ハ	地域時間当たり 標準経常費用 二	時間当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ホ
	円 . 銭		円 . 銭

4.補助対象系統ごとの国庫補助金申請額、負担者とその負担割合

市区町村	申請番号	利便 増進 特置	運行 系統名	営業区域	計画 運行回数 (い)	実績 運行回数 (3)	運休回数 (は)	運休回数の うち12条2 項ただりやとしまりいという (大臣が認数 (し)	運行割合 (100%を超え る場合は 100%を上限 とする。)	サービス提供時間	補助プロック外 乗入部分に係る サービス提供時 間 ト	同一補助ブロッ ク市区町村外乗 入部分に係る サービス提供時 間	補助プロック外乗り入れ部分及び同一補助 プロック市区町村外乗 リ入れ部分以外の サービス提供時間の 比率 (へ - (ト+チ))÷へ = リ
						回	回	回	%	時間	時間	時間	%
						回	回	回	%	時間	時間	時間	%
						回	回	回	%	時間	時間	時間	%
						回	回	回	%	時間	時間	時間	%
									%	時間	時間	時間	%
合計													

市区町村	申請番号	補助対象経常費用	補助対象系統 の経常収益	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した額	ヲのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック市区町村外乗入部分以外に係るもの	補助対象経費	補助対象経費の1/2	国庫補助上限額	国庫補助金申請額	
		ホ×へ = ヌ	ル	ヌ・ル=ヲ	ヲ×リ=ワ	カ	カ×1/2=∃	タ	V	
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円	
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円	
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円	
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円	
		円	円	円	円	千円	千円	千円	千円	
合計		0 円	0 円	0 円	0 円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

		経常費用から 経常収益を控除	損失額から国庫補	ネの負担者とその負担割合												
市区町村	申請番号	とおります。	助額を控除した額	都道府県		市区町村		その他の者		事業者自	己負担	「その他の者」の				
		ハ×へ - ル=ソ	ソ・レ=ツ	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	具体的概要				
		円		/		/		/	/	/	/					
		円					/									
		円		/												
		円														
		円					/	/								
合計		0 円	0 円	円	%	円	%	円	%	円	%					

(1) 記載要領

- 1.乗合バス事業の収益、サービス提供時間については、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス等並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除くこと。
- 2.補助対象事業者の決算期間が補助対象期間と相違している事業者については、補助対象期間の仮決算を行い、その掲益状況を掲益状況欄に記載すること。
- 3.補助対象期間中の一般乗合旅客自動車運送事業(自家用有償旅客運送)と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分については、原則として、自動車運送事業に係る収益及び費用並びに固定資産の配分基準について(昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号)によること。
- 4.「補助対象期間の損益状況」については、消費税相当額を控除した額を記載すること。
- 5.「補助ブロック名」については、補助金交付要綱別表6の名称を記載すること。
- 6.「地域時間当たり標準経常費用」は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 7.時間当たり補助対象経常費用の計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 8.申請番号は、事業者及び系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 9. | 利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーター糸統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ'」を記載する。
- 10.「計画運行回数」については、大臣に認定された生活交通確保維持改善計画に記載された回数を転載すること。
- 11.「実績運行回数」については、補助対象期間中に運行した回数を記載すること。
- 12.「運休回数」については、計画運行回数のうち、補助対象期間中に運休した回数を記載すること。
- 13.「運休回数のうち12条2項ただし書によりやむを得ないとして大臣が認めた回数」については、補助対象期間中に運休した回数のうち、天災その他やむを得ない事情がある場合による回数を記載すること。
- 14.「運行割合」は、小数点第2位(第3位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 15.「サービス提供時間」、「補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間」及び「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。
- 16.「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」については、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分のサービス提供時間を記載することとし、補助ブロックが 異なる市区町村外乗入部分は(ト)に記載すること。
- 17.「補助ブロック外乗入部分及び市区町村外乗入部分以外のサービス提供時間の比率」は、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 18.「補助対象経常費用」は、円未満の端数を切り捨てること。
- 19.「補助対象系統の経常収益」については、補助対象期間における各補助対象系統の経常収益の実績額を記載すること。
- 20.「補助対象経費」は、(ワ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 21.「補助対象経費の1/2」は、系統ごとに百円単位(0.5千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 22.「国庫補助上限額」については、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者の系統ごとに按分した額を記載することとし、千円未満の端数は切り捨てること。 23.サービス提供時間とは、事業開始時間から事業終了時間までの間をいい、そのうち、待機時間、回送時間、予約受付に係る時間についても含める。ただし、時間外に行われる予約受付に係る時間等については含めない。
- 24.待機時間とは、サービス提供時間のうち、実運行しなかった時間をいう。ただし、休憩時間及びその他事業に従事している時間については含めない。
- 25.回送時間については、乗客が降車した後、帰庫する際の回送運行は実運行時間として差し支えない。ただし、回送運行中(帰庫途中)に乗用事業による配車指示があり、乗用事業の運行を行った場合は、当該回送運行は実運行時間とは認められない。

(2) 添付書類

- 1.補助対象期間に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」又は自家用有償旅客運送の損益明細表。
- 2.様式第1-5の運行系統別輸送実績。

事業者名		
	(担当部門の名称)	(責任者役職·氏名)
運行計画担当部門		
	(担当部門の名称)	(責任者役職·氏名)
補助金担当部門		

運行系統別輸送実績 (令和5年度) 【フィーダー系統】

				運行系	系統					年間輸	送実績				経常	収益		経常費用		
申請番号	運行 形態	運 行系統名	起点	主 な 経由地	終点	キロ程 (km)	運行回数 (A) (回)	輸送人員 (B) (人)	1運行 当たり 輸送人員 (B)/(A) (人/回)	1 人平均 乗車キロ (km)	輸 送 人 キロ (人 和)	実車走行 キロ (km)	サービス 提供時間 (時間)	運送収入 (C) (円)	運送雑収 (D) (円)	営業外収 (E) (円)	計 (C)+(D+(E) (円)	1系統 当たり 経常費用	市町村の別	備考
									()(, 1)			-	0.0							
												-	0.0							
												-	0.0							
												-	0.0							
												-	0.0							
合計									ı	•		-	-					•		

[記載要領]

- 1.この書類は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統ごとに作成すること(補助対象系統のみ記載すること)。
- 2.申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 3. 運行形態は、路線定期運行、路線不定期運行、区域型運行の別を記載すること。
- 4.起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。
- 5.運行回数は、補助対象期間における合計運行回数を記載すること。なお1往復を運行回数1回とし、循環系統の場合は、1循環で運行回数1回とする。往路若しくは復路のみの場合は、0.5回とする。
- 6.1運行当たり輸送人員は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。
- 7.実車走行キロ及びサービス提供時間は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 8.1系統当たり経常費用は、路線型にあっては補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたもの、デマンド型にあっては補助対象事業者のサービス提供時間当たり 経常費用に当該系統のサービス提供時間を乗じたものとする。
- 9. 備考欄には、補助対象期間中にスト及び積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合等、特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。
- 10.各運行系統のキロ程、運行回数、輸送人員、輸送人キロ、実車走行キロ、サービス提供時間、運送収入、運送雑収及び営業外収益の欄については必ず記載すること。